

本 覧 寺 杼 貝 (82), 2017

和歌山県串本産の巨大な シマメノウフネガイ (カリバガサ科)

久保田 信

Shin Kubota: A giant *Crepidula onyx* (Calyptraeidae)
from Kushimoto Town, Wakayama Prefecture, Japan

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所

シマメノウフネガイ *Crepidula onyx* は、わが国では周知の様に北アメリカ（カリフォルニア～パナマの太平洋岸にかけて自然分布）からの外来種で、1968年に三浦半島で初記録されて以降、日本各地でアワビ類はじめ、アカニシやアズマニシキ等の軟体動物の生体の貝殻上で付着生活を送ることが知られている（江川, 1985）。本種の扁平で長円形の皿を伏せた様な殻の長さは3 cm程度であり、殻表は平滑で殻口内は紫褐色を呈している（奥谷, 2017）。

今回、2015年度に開催の本会の集まりで、前岩崇氏よりのご厚意で配布された和歌山県串本町姫の打ち上げの貝殻の中に、本種の巨大な貝殻（殻長51 mm: 2015年10月25日採集）が1個あったので記録しておく（図1）。

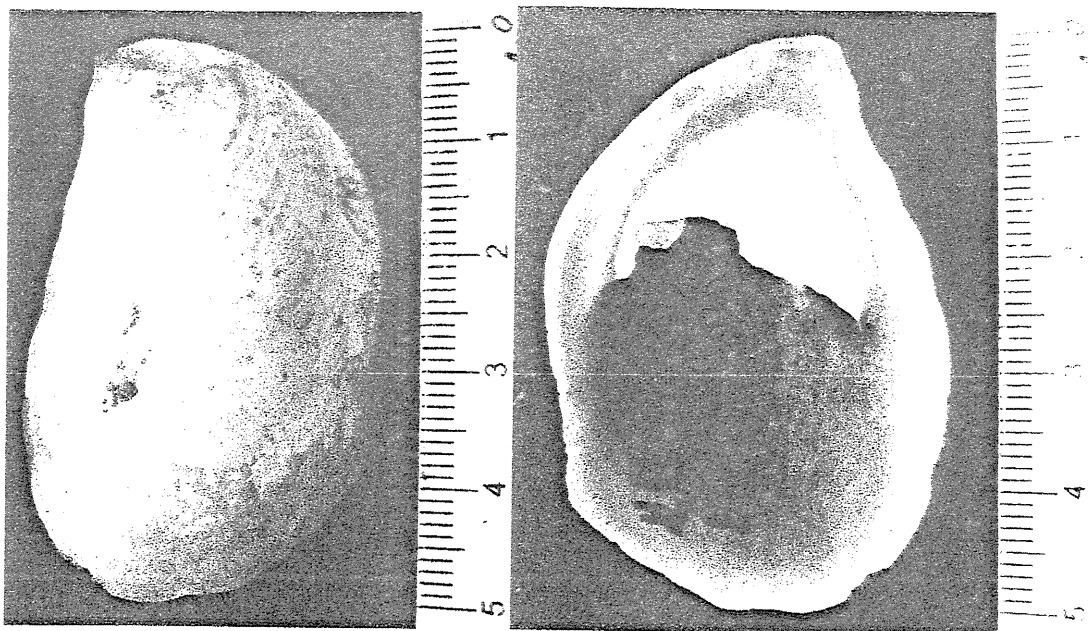


図 1.和歌山県串本町の姫で 2015 年に採集された巨大なシマメノウフネガイ(左: 背面; 右: 腹面).

江川 (1985) によると、紀伊水道沿岸では 1974 年に和歌山県みなべ町で最初に発見されている。なお、本種に関しては、次の海の移入種情報が参考になる。

<http://www.marineco.co.jp/alien/alientop.html>

引用文献

江川和文. 1985. シマメノウフネガイの分布とその伝播状況. ちりぼたん, 16(2): 37-44.

奥谷喬司. 2017. シマメノウフネガイ *In* 奥谷喬司編著 日本近海産貝類図鑑第二版 p. 838, 東海大学出版, 神奈川県.